

一集 会 状 況一

	男	女	計
主 日 礼 拜2/21	21	60	81
教 会 学 校2/21	2	19	21

一牧 師 室 か ら一

聖霊降臨によって誕生した初代教会は、日々主イエスを信じる者の数を増していった。ところが、組織増大の中で差別問題が起こった。信仰と生活を全く共有する群れであったが、ヘブライ語を話す生粋のユダヤ人と、ギリシャ語圏から帰国した母国語を話せないユダヤ人（ディアスポラ）のやもめとの間で、食事の分配に公平を欠くようになった。夫を失い傷心の思いで帰国したディアスポラのやもめたちは、教会を信じて仲間に加わったが、ここでも差別され人間の悲しい罪の現実に晒された。この罪の現実に対して、教会は

三つの「良い」対応をしている。まず非福音的な差別が、隠蔽されず明るみに出されたことである。罪を罪として認める謙遜さと勇気があった。これが救いの始めとなる。二つ目は、教会は差別を乗り越える対応能力を持っていたことである。使徒たちは「自分たちは祈りとみ言葉の奉仕に専念したいので、公平な分配を任せる人を選ぼう」と呼びかけ、教会は霊と知恵に満ちた評判の良い7人を選んでいる。三つ目は、選ばれた7人は皆ギリシャ名を持つ人で、ギリシャ語しか話せないディアスポラを全面的に支える人選であったことである。ギリシャ文化に親しんだ彼らが、キリスト教をエルサレムからギリシャ・ローマ社会へと広げる力になっていった。

教会も人の集まりだから罪に落ち入り、間違ふことは避けられない。ただ、教会は赦しによって罪が恵みに変えられ、その恵みが満ちあふれることを知っている。この奇跡をイエス・キリストの十字架と復活が約束している。

週 報

1993年2月28日 復活前第6主日

巻 13 48号

1992年度教会主題

「復活の主を見る」

聖 句 すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明して下さったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。

ルカによる福音書 24章31節～32節

- 目 標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 交わりを深めつつ、教会の新しい方向を求める。

日本キリスト教団 **横浜港南台教会**

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29
電話 045-833-5323、045-833-6616
振替 横浜 9-13994

牧 師 秋 吉 隆 雄